国際スノーボード&スケートボード専門学校

科目名	ホームルームⅠ			方法	講義
担当教員	大橋一麻		実務授業の有無	無	
対象学科	アクションスポーツ専攻科	対象学年	1	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	14時間
授業形態	対面授業と遠隔授業の実施				
授業概要、目的、授業の進め方	1. インターンシップ、就職活動準備 2. 英語スキルの習得 3. 目標の設定、目標プランニング				
学習目標（到達目標）	基礎英語スキルの獲得及び就職進路に向けたビジネススキルの獲得。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	SUCCESS、実践ビジネスマナー、スタディサプリ				

回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考
1	スタディサプリの使い方／インターンシップについて	スタディサプリENGLISH、SUCCESS活用
2	ディクテーション／インターンシップ、企業訪問準備	スタディサプリENGLISH、SUCCESS活用
3	ディクテーション／インターンシップ、企業訪問準備	スタディサプリENGLISH、SUCCESS活用
4	シャドーイング／インターンシップ、企業訪問準備	スタディサプリENGLISH、SUCCESS活用
5	シャドーイング／就職活動について	スタディサプリENGLISH、SUCCESS活用
6	シャドーイング／就職活動について	スタディサプリENGLISH、SUCCESS活用
7	シャドーイング／就職活動について	スタディサプリENGLISH、SUCCESS活用
8	リード＆ルックアップ／就職活動について	スタディサプリENGLISH、SUCCESS活用
9	リード＆ルックアップ／就職活動について	スタディサプリENGLISH、SUCCESS活用
10	リード＆ルックアップ／就職活動について	スタディサプリENGLISH、SUCCESS活用
11	リード＆ルックアップ／目標プランニング	スタディサプリENGLISH、SUCCESS活用
12	瞬間発話プラクティス／目標プランニング	スタディサプリENGLISH、SUCCESS活用
13	瞬間発話プラクティス／目標プランニング	スタディサプリENGLISH、SUCCESS活用
14	瞬間発話プラクティス／目標プランニング	スタディサプリENGLISH、SUCCESS活用

評価方法・成績評価基準	履修上の注意
関心・意欲・態度・技能において評価を行う。（出席率80％以上） ■成績評価４段階評価　100点満点で評価 A（秀　80点以上）B（優　70点以上） C（良　60点以上）D（不可　60点未満）	

実務経験教員の経歴	

国際スノーボード&スケートボード専門学校

科目名	パソコン演習			方法	演習
担当教員	伊藤　由美子		実務授業の有無	無	
対象学科	アクションスポーツ専攻科	対象学年	1学年	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30時間
授業形態	対面授業と遠隔授業で実施				
授業概要、目的、授業の進め方	パソコンの基本的な使い方、キーボードによる文字入力をマスターする。				
学習目標（到達目標）	Wordによる文書作成が出来るようにする。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	ウイネット　Word2019クイックマスター サーティファイ　Word文章処理技能認定試験３級問題集				

回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考
1	PCの基本的な操作	PCの基本操作(フォルダ管理、文書の保存等)
2	Wordの基本的な操作	Wordの説明、基本操作
3	文字の入力と編集の基本操作	キーボードによる文字入力と編集の操作
4	文書の編集	文書編集の基本操作
5	練習問題	問題集より出題
6	文書の作成	文字入力、文書の作成、編集
7	模擬問題１	問題集より出題
8	模擬問題１	問題集より出題
9	模擬問題２	問題集より出題
10	模擬問題３	問題集より出題
11	模擬問題４	問題集より出題
12	模擬問題５	問題集より出題
13	模擬問題６	問題集より出題
14	模擬問題７	問題集より出題
15	検定	

評価方法・成績評価基準	履修上の注意
関心・意欲・態度・技能において評価を行う。（出席率80％以上） ■成績評価４段階評価　100点満点で評価 A（秀　80点以上）B（優　70点以上） C（良　60点以上）D（不可　60点未満）	授業内容は進捗に応じ変更となることもあります。

実務経験教員の経歴	各事業所いて指導経験あり

国際スノーボード&スケートボード専門学校

科目名	コンディショニングⅠ			方法	講義
担当教員	大橋一麻		実務授業の有無	有	
対象学科	アクションスポーツ専攻科	対象学年	1	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	28時間
授業形態	対面授業と遠隔授業の併用実施				
授業概要、目的、授業の進め方	人体の特徴、基礎栄養、障害予防方法、応急処置を学び、身体の状態を維持、向上する方法を理解する。スポーツのケガを減らし、安全なスポーツ環境を作るために、スポーツ医学の知識（身体やケガの知識）を習得し①ケガの予防、②ケガからの競技復帰、③競技力の向上、に活かす。 パフォーマンスアップに必要な身体の特徴理解を深める。				
学習目標（到達目標）	スポーツ医学検定資格初級取得				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	スポーツ医学検定公式テキスト２・３級				

回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考
1	解剖学・バイオメカニクス（人体の特徴と名称）①	実技あり、教科書、映像を用いた動作チェック
2	解剖学・バイオメカニクス（人体の特徴と名称）②	実技あり、教科書、映像を用いた動作チェック
3	基礎栄養①	５大栄養素、吸収、分解の仕組み、水分補給、エネルギー
4	基礎栄養②	５大栄養素、吸収、分解の仕組み、水分補給、エネルギー
5	怪我の予防	怪我を防ぐために
6	怪我からの競技復帰	復帰を早める為に必要な事（栄養、処置、リハビリ）
7	怪我からの競技復帰	復帰を早める為に必要な事（栄養、処置、リハビリ）
8	トレーニング種類と組み合わせ	各部位のトレーニング方法、セット法
9	トレーニング種類と組み合わせ方/ピリオダイゼーション	各部位のトレーニング方法、セット法、スケジュールの組み方とピークパフォーマンスの作り方
10	頭位を位置する胸郭のスポーツにおける重要性について	実技あり、自身の滑走動画比較
11	頸椎と呼吸法の関係性による柔構造と剛構造の違い	実技あり、チェック方法、トレーニング方法の習得
12	パフォーマンスを決める手と体幹の位置関係と発揮方法	実技あり、チェック方法、トレーニング方法の習得
13	骨盤のパフォーマンス向上におけるメカニズム①	実技あり、チェック方法、トレーニング方法の習得
14	骨盤のパフォーマンス向上におけるメカニズム②	実技あり、チェック方法、トレーニング方法の習得

評価方法・成績評価基準	履修上の注意
考査60％（試験60点以下の場合追試対象） 平常点40％（学習意欲、取り組み、理解度、出席率） ■成績評価４段階評価　100点満点で評価 A（秀　80点以上）B（優　70点以上） C（良　60点以上）D（不可　60点未満）	

実務経験教員の経歴	スノーボード日本代表選手専属トレーナー5年、デフリンピックスノーボードフリースタイル日本代表トレーナー10年

国際スノーボード&スケートボード専門学校

科目名	専門演習			方法	講義
担当教員	藤沼到、稲川光伸、大友秀樹		実務授業の有無	有	
対象学科	アクションスポーツ専攻科	対象学年	1	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	28時間
授業形態	対面授業と遠隔授業の併用実施				
授業概要、目的、授業の進め方	・各種目（スケートボード、スノーボード）の歴史や基礎用語を理解し、専門家としての意識を高める。 ・業界を支える発想力を身につける。 ・現在のボードスポーツ産業の状況と考えられる課題・解決する力を身につける。				
学習目標（到達目標）	・専門用語の習得　・基本技術解説力の習得 ・マテリアル理解　・障害のメカニズムと予防法の理解				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	スノーボード：スノーボード教程				

回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考
1	スケートボード･スノーボードの歴史①	
2	スケートボード･スノーボードの歴史②	
3	マテリアル基礎構造①	
4	マテリアル基礎構造②	
5	マテリアル基礎構造③	
6	マテリアル基礎構造④	
7	マテリアル基礎構造⑤	
8	スケートボード･スノーボード基礎用語	
9	ボードスポーツ業界専門知識①	
10	ボードスポーツ業界専門知識②	
11	ボードスポーツ業界専門知識③	
12	ボードスポーツ業界専門知識④	
13	ボードスポーツ業界専門知識⑤	
14	ボードスポーツ業界専門知識⑥	

評価方法・成績評価基準	履修上の注意
考査60％（試験60点以下の場合追試対象） 平常点40％（学習意欲、取り組み、理解度、出席率） ■成績評価４段階評価　100点満点で評価 A（秀　80点以上）B（優　70点以上） C（良　60点以上）D（不可　60点未満）	

実務経験教員の経歴	妙高山スノーボードスクール経営

国際スノーボード&スケートボード専門学校

科目名	専門実技			方法	実技
担当教員	藤沼到、滝沢光、大友秀樹、大橋一麻	実務授業の有無		有	
対象学科	アクションスポーツ専攻科	対象学年	1	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数	12	時間数	168時間
授業形態	対面授業の実施				
授業概要、目的、授業の進め方	・スケートボード、スノーボードに必要なテクニックの習得 ・基礎体力の向上及びパフォーマンス向上知識の習得				
学習目標（到達目標）	トレーニングを通じて、身体への知識を増やし競技力の向上。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	なし				

回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考
1	スケートボードテクニック・スノーボードテクニック理論・実技	
2	スケートボードテクニック・スノーボードテクニック理論・実技	
3	スケートボードテクニック・スノーボードテクニック理論・実技	
4	スケートボードテクニック・スノーボードテクニック指導理論	
5	スケートボードテクニック・スノーボードテクニック指導実技	
6	スケートボードテクニック・スノーボードテクニック指導実技	
7	スケートボードテクニック・スノーボードテクニック指導実技	
8	大会・検定に向けたテクニカルトレーニング①	
9	大会・検定に向けたテクニカルトレーニング②	
10	大会・検定に向けたテクニカルトレーニング③	
11	大会・検定に向けたテクニカルトレーニング④	
12	大会・検定に向けたテクニカルトレーニング⑤	
13	基礎トレーニング方法の習得	
14	基礎トレーニング方法の習得	
15	基礎トレーニング方法の習得	
16	基礎トレーニング方法の習得	

評価方法・成績評価基準	履修上の注意
考査60% 平常点40%（学習意欲、取り組み、理解度、出席率） ■成績評価４段階評価　100点満点で評価 A（秀　80点以上）B（優　70点以上） C（良　60点以上）D（不可　60点未満）	怪我の防止・熱中症への対策。

実務経験教員の経歴	SAJ元ナショナルデモンストレーター／オールアルビレックスコーチ１年/日本代表選手専属トレーナー5年

国際スノーボード&スケートボード専門学校

科目名	指導演習			方法	講義
担当教員	藤沼到、大橋一麻		実務授業の有無	有	
対象学科	アクションスポーツ専攻科	対象学年	1	開講時期	前期/後期
必修・選択	必修	単位数	4	時間数	56時間
授業形態	対面授業と遠隔授業の併用実施				
授業概要、目的、授業の進め方	スケートボード、スノーボード、トレーニングにおける指導。 インストラクター、指導者として指導の実践経験を積み人間力、指導力、実践力を身に付ける				
学習目標（到達目標）	的確な技術解説の習得、指導力の向上、技術向上 様々なクリエーションワークを模擬制作し、ビジネスや業界への関心を高める				
テキスト・教材・参考図書・その他資料					

回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考
1	ねらいと導入の確認	
2	指導演習・スケートパーク運営	JSAライセンス、JSBAを中心とした指導展開
3	指導演習・スケートパーク運営	JSAライセンス、JSBAを中心とした指導展開
4	指導演習・スケートパーク運営	JSAライセンス、JSBAを中心とした指導展開
5	指導演習・スケートパーク運営	JSAライセンス、JSBAを中心とした指導展開
6	指導演習・スケートパーク運営	JSAライセンス、JSBAを中心とした指導展開
7	指導演習・スケートパーク運営	JSAライセンス、JSBAを中心とした指導展開
8	指導演習・スケートパーク運営	JSAライセンス、JSBAを中心とした指導展開
9	指導演習・スケートパーク運営	JSAライセンス、JSBAを中心とした指導展開
10	指導演習・スケートパーク運営	JSAライセンス、JSBAを中心とした指導展開
11	指導演習・スケートパーク運営	JSAライセンス、JSBAを中心とした指導展開
12	指導演習・スケートパーク運営	JSAライセンス、JSBAを中心とした指導展開
13	指導演習・スケートパーク運営	JSAライセンス、JSBAを中心とした指導展開
14	指導演習・スケートパーク運営	JSAライセンス、JSBAを中心とした指導展開

評価方法・成績評価基準	履修上の注意
考査60％（試験60点以下の場合追試対象） 平常点40％（学習意欲、取り組み、理解度、出席率） ■成績評価４段階評価　100点満点で評価 A（秀　80点以上）B（優　70点以上） C（良　60点以上）D（不可　60点未満）	

実務経験教員の経歴	スノーボード日本代表選手専属トレーナー5年、デフリンピックスノーボードフリースタイル日本代表トレーナー10年

国際スノーボード&スケートボード専門学校

科目名	専門実習			方法	実技
担当教員	藤沼到、稲川光伸、滝沢光、大友秀樹	実務授業の有無		有	
対象学科	アクションスポーツ専攻科	対象学年	1	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数	24	時間数	344時間
授業形態	対面授業で実施				
授業概要、目的、授業の進め方	スケートボード・スノーボードを通じ人間力・技術基礎を学び、大会、資格取得、技術向上を目指し練習を行う。				
学習目標（到達目標）	大会入賞、インストラクター資格、プロ資格の取得				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	なし				

回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考
1	基礎スキルの習得①	
2	基礎スキルの習得②	
3	基礎スキルの習得③	
4	基礎指導技術①	
5	基礎指導技術②	
6	基礎指導技術③	
7	応用技術①	
8	応用技術②	
9	応用技術③	
10	応用技術④	
11	応用技術⑤	
12	応用技術⑥	AJSAプロ資格・JSA公認インストラクター JSBAプロ資格・C級、B級インストラクター、NSCA-CPT習得
13	応用技術⑦	AJSAプロ資格・JSA公認インストラクター JSBAプロ資格・C級、B級インストラクター、NSCA-CPT習得
14	応用技術⑧	AJSAプロ資格・JSA公認インストラクター JSBAプロ資格・C級、B級インストラクター、NSCA-CPT習得
15	応用技術⑨	AJSAプロ資格・JSA公認インストラクター JSBAプロ資格・C級、B級インストラクター、NSCA-CPT習得
16	応用技術⑩	AJSAプロ資格・JSA公認インストラクター JSBAプロ資格・C級、B級インストラクター、NSCA-CPT習得

評価方法・成績評価基準	履修上の注意
関心・意欲・態度・技能において評価を行う。（出席率80％以上） ■成績評価４段階評価　100点満点で評価 A（秀　80点以上）B（優　70点以上） C（良　60点以上）D（不可　60点未満）	

実務経験教員の経歴	妙高山スノーボードスクール経営、新潟県スキー連盟スノーボード競技強化部長4年、SSコーチ8年、オールアルピレックスコーチ１年

国際スノーボード&スケートボード専門学校

科目名	インターンシップ			方法	実習
担当教員	大橋一麻		実務授業の有無	無	
対象学科	アクションスポーツ専攻科	対象学年	全学年	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数	8	時間数	112時間
授業形態	対面授業で実施				
授業概要、目的、授業の進め方	活動方向性、将来の目標に向けた就業体験。目的、背景を明確化し、インターンシップ先の決定を行い準備・日程の調整を含め行う。業界理解を深め今後の進路選択、活動の幅を広げる				
学習目標（到達目標）	実践力を身につけ、業界への理解を深める				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	なし				

回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考
1	インターンシップ実習	事前準備として参加動機書、学生調書の作成を行う。
2	インターンシップ実習	日誌の作成、報告
3	インターンシップ実習	日誌の作成、報告
4	インターンシップ実習	日誌の作成、報告
5	インターンシップ実習	日誌の作成、報告
6	インターンシップ実習	日誌の作成、報告
7	インターンシップ実習	日誌の作成、報告
8	インターンシップ実習	日誌の作成、報告
9	インターンシップ実習	日誌の作成、報告
10	インターンシップ実習	日誌の作成、報告
11	インターンシップ実習	日誌の作成、報告
12	インターンシップ実習	日誌の作成、報告
13	インターンシップ実習	日誌の作成、報告
14	インターンシップ実習	日誌の作成、報告、お礼状の作成

評価方法・成績評価基準	履修上の注意
実習評価表の評価をもとに関心・意欲・態度・技能の観点から評価を行う。 ■成績評価４段階評価　100点満点で評価 A（秀　80点以上）B（優　70点以上） C（良　60点以上）D（不可　60点未満）	

実務経験教員の経歴	

国際スノーボード&スケートボード専門学校

科目名	企業研修Ⅰ			方法	講義
担当教員	大橋一麻		実務授業の有無	無	
対象学科	アクションスポーツ専攻科	対象学年	1	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	18時間
授業形態	対面授業の実施				
授業概要、目的、授業の進め方	ボードスポーツ業界、マーケティング理解を深め今後の進路選択の幅を広げる 会社訪問、体験及び講話				
学習目標（到達目標）	業界理解を深める				
テキスト・教材・参考図書・その他資料					

回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考
1	ボードスポーツ業界理解を深める	
2	ボードスポーツ業界理解を深める	
3	マーケティング・企業について	
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		

評価方法・成績評価基準	履修上の注意
考査60％ 平常点40％（学習意欲、取り組み、理解度、出席率） ■成績評価４段階評価　100点満点で評価 A（秀　80点以上）B（優　70点以上） C（良　60点以上）D（不可　60点未満）	

実務経験教員の経歴	

国際スノーボード&スケートボード専門学校

科目名	日本語コミュニケーション			方法	講義
担当教員	大橋一麻		実務授業の有無	無	
対象学科	アクションスポーツ専攻科	対象学年	1	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	ー	時間数	12時間
授業形態	対面授業の実施				
授業概要、目的、授業の進め方	コミュニケーション基礎を学び、インターンシップ、就職活動に必要な知識・技術の獲得を行い コミュニケーション検定初級取得に向けて勉強を行う。 聞く、話すことの重要性理解、ビジネス分野において必要な言葉遣い、作法を含めた理論編 電話応対やビジネスマナーなどの実践編の２部構成にて授業を進めていく。				
学習目標（到達目標）	コミュニケーション基礎能力の構築　コミュニケーション検定初級合格100％				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	コミュニケーション検定　初級対策テキスト コミュニケーション技法				

回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考
1	コミュニケーションを考える、聞く力、話す力、来客応対	コミュニケーション検定初級対策テキストＰ２～P43
2	電話応対、アポイントメント、接客クレーム対応、模擬テスト①	コミュニケーション検定初級対策テキストP44～83
3	模擬テスト②	
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		

評価方法・成績評価基準	履修上の注意
考査60％ 平常点40％（学習意欲、取り組み、理解度、出席率） ■成績評価４段階評価　100点満点で評価 A（秀　80点以上）B（優　70点以上） C（良　60点以上）D（不可　60点未満）	テキストの内容を把握していること。

実務経験教員の経歴	

国際スノーボード&スケートボード専門学校

科目名	就職研修			方法	講義
担当教員	大橋一麻		実務授業の有無	無	
対象学科	アクションスポーツ専攻科	対象学年	1	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	ー	時間数	12時間
授業形態	対面授業の実施				
授業概要、目的、授業の進め方	基礎ビジネスマナー、就職活動に必要な基礎知識の習得を行う ・身だしなみ　・企業研究　・アポイントメント　・面接　・履歴書の書き方　・自己PR				
学習目標（到達目標）	社会人として必要なビジネスマナー、ビジネススキルの獲得				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	SUCCESS				

回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考
1	就職について、身だしなみ、企業研究、履歴書の書き方	
2	アポイントメント、面接について	
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		

評価方法・成績評価基準	履修上の注意
考査60％ 平常点40％（学習意欲、取り組み、理解度、出席率） ■成績評価４段階評価　100点満点で評価 A（秀　80点以上）B（優　70点以上） C（良　60点以上）D（不可　60点未満）	

実務経験教員の経歴	

国際スノーボード&スケートボード専門学校

科目名	特別講義			方法	講義
担当教員	大橋一麻		実務授業の有無	無	
対象学科	アクションスポーツ専攻科	対象学年	1	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	18時間
授業形態	対面授業の実施				
授業概要、目的、授業の進め方	ボードスポーツ業界、マーケティング理解を深め、競技、指導者、マーケティング分野など今後の選択肢を広げる。				
学習目標（到達目標）	業界理解を深める				
テキスト・教材・参考図書・その他資料					

回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考
1	ボードスポーツ業界について　講話	
2	ボードスポーツ業界について　講話	
3	ボードスポーツ業界について　講話	
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		

評価方法・成績評価基準	履修上の注意
考査60％ 平常点40％（学習意欲、取り組み、理解度、出席率） ■成績評価４段階評価　100点満点で評価 A（秀　80点以上）B（優　70点以上） C（良　60点以上）D（不可　60点未満）	

実務経験教員の経歴	

国際スノーボード&スケートボード専門学校

科目名	特別講義			方法	講義
担当教員	大橋一麻		実務授業の有無	無	
対象学科	アクションスポーツ専攻科	対象学年	1	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数	5	時間数	80時間
授業形態	対面授業の実施				
授業概要、目的、授業の進め方	プロスポーツ・ストリートカルチャーを体感し、スポーツの文化、視野を広げる				
学習目標（到達目標）	業界理解を深める				
テキスト・教材・参考図書・その他資料					

回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考
1	プロスポーツ・ストリートカルチャーの体感	

評価方法・成績評価基準	履修上の注意
考査60％ 平常点40％（学習意欲、取り組み、理解度、出席率） ■成績評価４段階評価　100点満点で評価 A（秀　80点以上）B（優　70点以上） C（良　60点以上）D（不可　60点未満）	

実務経験教員の経歴	